



年 組 名前

道新ワークシート

津波が来る！ 避難所へ逃げ

羅臼で防災訓練

【羅臼】町の冬期防災訓練が17日、町内の農林漁業体験実習館で行われた。参加者は避難所となる同館に避難し、設備や備蓄品を確認した。

職員と町民の防災意識向上を目的に毎年夏と冬に実施しており、今回は町職員10人と町民3人が参加した。カムチャツカ南西沖で大地震が起こり



防災訓練で屋内用テントの組み立て方を学ぶ参加者たち

津波注意報が出たとの想定で、参加者が町役場や自宅から同館に避難する訓練を行った。

町の A 防災監が昨年7月のカムチャツカ半島沖地震を受け、津波の警報や注意報が出た際の町の対応について説明した。警報時のみ開設するとしていた避難所について「注意報でも羅臼小など5カ所に設けると変更点を紹介した。」

その後、参加者は段ボールベッドを組み立てたり、発電機や衛星携帯電話の使い方を学んだりした。町産業創生課の B さん(20)は「何がどこにあるかを実際に見て、備えておくことは大事だと実感した」と話した。

(坂本麻保)

2026年 3月19日(木) 朝刊 釧路・根室版 14ページ (記事は再編集しています)

(1) この訓練は、どのような想定(状況や条件をあらかじめ決めること)で行われましたか。

(2) この訓練には、誰が参加しましたか。また、どのようなことを行いましたか。

(3) あなたは、学校の避難訓練で、どのようなことに気を付けていますか。